



半田南ロータリークラブ

●創立: 1980.2.12 ●認証: 1980.2.25

■会長/山本 慎治 ■幹事/蛭川 勝己 ■例会/毎週火曜日 半田商工会議所
愛知県半田市銀座本町1の1の1(半田商工会議所内) TEL.(0569)21-0324 FAX.(0569)23-4546

- 司 会 S.A.A 榊原顕太郎君
- ソングリーダー 榊原顕太郎君
- 国 歌 「君が代」
- ロータリーソング 「奉仕の理想」
- ピアノ 中田 美由紀さん
- ゲスト 半田商工会議所 専務理事 小柳 厚様

会長挨拶 副会長 竹内 俊郎君
挨拶文はホームページの会報で閲覧できます。



●出席委員会

第1867回例会 6月4日(火) 天気(晴)
本日の例会は29名の出席にて、出席率は82.85%です。
なお、前々回は7名のメーキャップにて100%に訂正します。

●Smiling Box

- 永田 明世君 多忙です。仕事もゴルフも。ついでにゴルフのスコアも多忙です。
- 竹内 俊郎君 会長が国際会議出席の為に欠席、会長挨拶を代行させて頂きました。わざわざ出番を作って頂き、感謝！(本心は逆ですが。)
- 石川 勝彦君 「ポーっと生きてんじゃねーよ！」と我家のチョコちゃんに叱られます。ロータリーでは叱られる事が少なくなりました。気がついたらそっとやさしく教えて下さい。満72才、パー「プレイ」?です。
- 山本 慎治君 本日は、国際会議参加のため、例会を欠席します。竹内俊郎副会長、会長代理挨拶を宜しくお願い申し上げます。ドイツ・ハンブルグより
- 榊原顕太郎君 本日の卓話に商工会議所専務理事の小柳厚様にお越しいただきました。お世話になっている会議所のことを皆様を知っていただきたいと思います。よろしくお願います。
- 早退します。岡戸 利直君 杉浦 豊幸君
合計7名 12,000円

卓 話

担当 榊原顕太郎君



演 者 半田商工会議所 専務理事 小柳 厚様
演 題 「商工会議所の活動について」



幹事 蛭川 勝己君



副幹事 杉山 知子君

●次回の例会

第1869回例会 夜間会場変更例会
6月18日(火) 於: たちばな

2019/06/04

第41回 会長挨拶

みなさんこんにちは、国際会議参加のため、
本日の例会に出席できず非常に残念です。
今回は、竹内俊郎副会長に会長挨拶を代読して頂きます。

さて、6月と言えば梅雨、梅雨と言えば花はアジサイそして、
最高の演出はカタツムリ、そうです、でんでんむしです、
でんでんむしと言えば、新美南吉の
「でんでんむしのかなしみ」が浮かんできます。

今日は、新美南吉の「でんでんむしのかなしみ」について、
触れてみたいと思います。

「でんでんむしのかなしみ」は
創作童話として1935年（昭和10年）に発表されて以降、
広く親しまれてきました。
この作品に注目が集まったのは1998年。

現在の上皇后美智子さまがインドのニューデリーで行われた
国際児童図書評議会の基調講演でこの
「でんでんむしのかなしみ」について触れたのです。

今日は、その「でんでんむしのかなしみを」原文のまま、
朗読をして会長挨拶とさせていただきます。

「でんでんむしのかなしみ」

一匹のでんでん虫がありました。

ある日、そのでんでん虫は、大変なことに気がつきました。

「わたしは今までうっかりしていたけれど、わたしの背中の殻の中には
悲しみがいっぱい詰まっているではなしか」

この悲しみはどうしたらよいのでしょうか。

でんでん虫は、お友達のでんでん虫の所にやってきました。

「わたしはもう、生きていられません」と
そのでんでん虫はお友達に言いました。

「何ですか」とお友達のでんでん虫は聞きました。

「わたしは何と言う不幸せなものでしょう。
わたしの背中の殻の中には、悲しみがいっぱい詰まっているのです」と、
はじめのでんでん虫が話しました。
すると、お友達のでんでん虫は言いました。

「あなたばかりではありません。わたしの背中にも悲しみがいっぱいです」

それじゃあ仕方がないと思って、はじめのでんでん虫は、
別のお友達の所へ行きました。
するとそのお友達も言いました。「あなたばかりではありません。
わたしの背中にも悲しみがいっぱいです」

そこで、はじめのでんでん虫は、また別のお友達の所へ行きました。

こうして、お友達を順々に訪ねて行きましたが、どのお友達も、
同じことを言うのでありました。

とうとう、はじめのでんでん虫は気がつきました。
「悲しみは、誰でも持っているのだ。わたしばかりではないのだ。
わたしは、わたしの悲しみをこらえて行かなきゃならない」
そして、このでんでん虫はもう、嘆くのをやめたのであります。

みなさん、わたしの心も悲しみがいっぱいです。

皆さんの心はいかがですか？